



NPO法人 日本ホスピス緩和ケア協会

ニュースレター

2011年5月20日発行

【日本ホスピス緩和ケア協会 事務局】

〒259-0151

神奈川県足柄上郡中井町井ノ口 1000-1

ピースハウス病院内

TEL 0465-80-1381/FAX 0465-80-1382

E-Mail info@hpcj.org

2011年度日本ホスピス緩和ケア協会総会および 創立20周年記念大会開催にあたって

特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会
理事長 志真 泰夫

2011年3月11日午後2時46分ごろ、東北地方太平洋沖の深さ約24kmを震源に、日本の観測史上最大規模マグニチュード9.0を記録する地震が発生しました。岩手県沖から茨城県沖まで南北約500km、東西約200kmの広範囲に及ぶ「東北地方太平洋沖地震」により、高さ10数メートルという津波が沿岸の町や村を襲い、一瞬のうちに家や車や人、生活のすべてを飲み込み、ことばを失うほどの甚大な被害をもたらしました。そして、その被害は三陸沿岸から東日本全体に及び、「東日本大震災」と呼ばれるように歴史的な災害となっています。日本ホスピス緩和ケア協会（以下、当協会とする）を代表して被災された多くの皆さまに心よりお見舞いを申し上げ、この大震災の犠牲となられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さらに、この地震に伴って起きた福島第1原発の事故は、多くの被災された方々のみならず、広く避難地域とそれ以外地域の人々にも、目に見えない不安と恐怖を引き起こしています。二転三転する政府の方針や不確かな状況の中にあつて、被災各地で不眠不休の救助活動に当たられた医療従事者の皆さま、緊急出動で派遣された自衛隊や消防関係の皆さま、そして全員が退避される中で現地に残り発電所の制御や復旧などに当たられた作業員の皆さま方に心より敬意を表します。人命の救出や原発の危機対策に続き、ライフラインの確保、インフラの復旧、そして被災地域全体の復興にこれから私たちひとりひとりがそのもてる力を惜しまず出して取り組まなければなりません。

当協会としては、3月16日に各会員施設にホスピス緩和ケアを必要とする被災地の患者さんの受け入れが可能かどうかを問い合わせ、その結果142施設（2011年4月30日現在）の会員から受け入れが可能というご返事を頂き、ホームページに公開可能な108施設を一覧表として公表することができました。会員の方々のご協力に心から感謝申し上げます。おそらく多くの会員施設が現在も被災者への様々な形で支援、協力活動を進めておられることと存じます。当協会としても被災地でホスピス緩和ケアを必要としている方々への支援はもちろんのこと、被災地で必要とされる様々な復旧や復興のための支援に今後も努力を惜しまないつもりです。

どうか、こういった厳しい状況の下で開催される2011年度総会および創立20周年記念大会に多くの会員がご参集くださるよう切にお願い申し上げます。

20周年記念大会のご案内



ご挨拶

大会長 高宮 有介
[昭和大学医学部医学教育推進室]

当協会は、2011年10月に創立20周年を迎えます。そこで、本年は、例年開催している年次大会を、創立20周年記念大会として企画しました。その後、未曾有の東日本大震災が起り、自粛というご意見もありましたが、逆にこんな時ほどお互いの結束をかため、絆を確認しあうことも必要かと考え、開催を決定しました。

今大会は、テーマを「日本ホスピス緩和ケア協会20年の歩み、そして、新たなる挑戦」とし、ビデオ上映では、発足当時から苦労や喜びなどを、懐かしい写真や功労者の証言を織り交ぜながら、紹介して参ります。

また、基調講演を柏木哲夫氏にお願いし、引き続きパネルディスカッションを行います。講師には、医師、看護師、MSW、薬剤師の立場から、それぞれ新進気鋭の若手に依頼しました。さらに、志真泰夫理事長に、協会の進むべき方向と新たな挑戦を講演で示して頂きます。

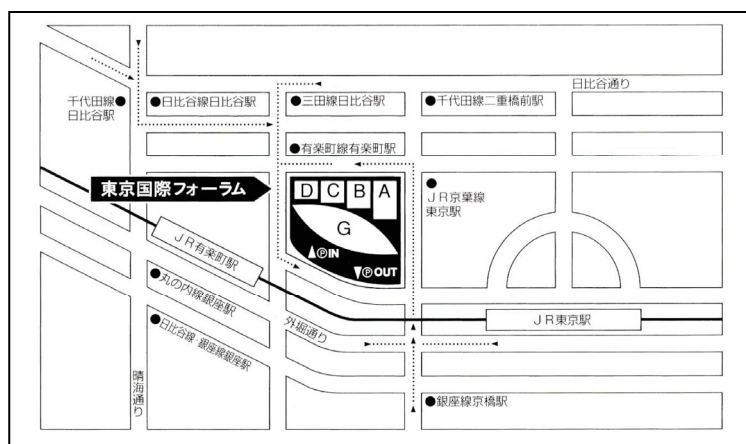
ビジネス的な内容だけでなく、特別講演としては、落合恵子さんに認知症のお母様の介護体験をお話いただく他、癒しの時間として、アカペラグループ「トライ・トーン」によるコンサートも計画しております。

懇親会では、関東甲信越支部幹事で皆様の日頃の疲れを和らげ、仕事への更なる勇気とエネルギーを得るよう趣向を凝らしたいと計画しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催要項

- 開催日時 2011年8月27日(土)
大会 10:30~17:30 懇親会 18:00~20:00
- テーマ 「ホスピス緩和ケア協会20年の歩み、そして、新たなる挑戦」
- 会場 東京国際フォーラム ホールB7(大会)
ホールB5(懇親会)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号(代表電話:03-5221-9000)
<http://www.ti-forum.co.jp/general/index.php>
- 対象 協会正会員・準会員・賛助会員
- 申込方法 同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、**8月1日(月)までに協会事務局へファックスにてお申し込み下さい。**
- 参加費 大会参加費5,000円 / 懇親会費5,000円
同封の郵便振替取扱票にて申込から2週間以内にお振り込み下さい。ご入金確認後、受付票を郵送いたします。
- 宿泊 協会としてのご案内はありません。各自でお手配下さい。

■東京国際フォーラム案内図■



- J R 線 有楽町駅より徒歩1分
東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅と地下1階コンコースにて連絡)
- 地 下 鉄 有楽町線 有楽町駅と地下1階コンコースにて連絡
- 羽田空港から モノレール浜松町駅まで23分、JR浜松町駅より有楽町駅まで4分



記念大会プログラム

総合司会：林 章敏（聖路加国際病院 緩和ケア科医長）
千葉優喜子（聖ヨハネ会桜町病院 医療福祉科係長）

- 10：30－10：40 **大会長挨拶** 高宮 有介（昭和大学医学部医学教室推進室 専任講師）
- 10：40－11：00 **ビデオ上映** 「ホスピス緩和ケア協会 20年の歩み」
- 11：00－12：30 **基調講演とパネルディスカッション** 「地域社会における協会の活動」
座長：本家 好文（広島県緩和ケア支援センター センター長）
田村 恵子（淀川キリスト教病院 ホスピス主任看護課長）
- 講演** 「協会のこれまでの歩みと今後への期待」
演者：柏木 哲夫（金城学院学院長・大学長／淀川キリスト教病院 名誉ホスピス長）
- パネルディスカッション** 「専門緩和ケアが果たす役割」
パネリスト：医師 新城 拓也（社会保険神戸中央病院）
看護師 平山さおり（KKR 札幌医療センター）
MSW 福地 智巴（静岡県立静岡がんセンター）
薬剤師 岡本 禎晃（市立芦屋病院）
- 14：00－14：30 **アフタヌーンコンサート** : トライ トーン（アカペラグループ）
- 14：40－16：20 **特別講演** 「母に歌う子守唄、そして」講演（80分）意見交換（20分）
演者：落合 恵子（作家） / 座長：山崎 章郎（ケアタウン小平クリニック 院長）
- 16：40－17：30 **理事長講演** 「ホスピス緩和ケア協会 20年の歩み、そして、新たなる挑戦」
演者：志真 泰夫（日本ホスピス緩和ケア協会 理事長／筑波メディカルセンター病院 副院長）
- 18：00－20：00 **懇親会**

【基調講演】 柏木 哲夫氏

金城学院学院長・大学長
大阪大学名誉教授
淀川キリスト教病院名誉ホスピス長



1965年大阪大学医学部卒業。同大学精神神経科に3年間勤務し、主に心身医学の臨床と研究に従事。その後3年間、ワシントン大学に留学し、アメリカ精神医学の研修を積む。1972年帰国し、淀川キリスト教病院に精神神経科を開設。翌年日本で初めてのホスピスプログラムをスタート。その後、同病院にて内科医としての研修を受け、1984年にホスピス開設。副院長、ホスピス長を経て、1993年大阪大学人間科学部教授就任（人間行動学講座）。淀川キリスト教病院名誉ホスピス長。大阪大学定年退官後2004年4月より金城学院大学学長。日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長。1994年日米医学功労賞、1998年朝日社会福祉賞、2004年保健文化賞受賞。

【主な著書】

癒しのユーモア（三輪書店）、癒しのターミナルケア（最新医学社）、ベッドサイドのユーモア学（メディカ出版、定本ホスピス・緩和ケア（青海社）、人生の実力（幻冬舎）、家族の実力（幻冬舎）、いのちに寄り添う。（KKベストセラーズ）など

パネルディスカッション

「専門緩和ケアが果たす役割」

座長 本家 好文・田村 恵子

日本ホスピス緩和ケア協会は、1991年10月に「全国ホスピス・緩和ケア病棟連絡協議会」として創立されて以来、20年余りにわたってホスピス・緩和ケア病棟の普及とケアの質の向上に努めてきました。2007年10月には「特定非営利活動法人」として、一般病棟の緩和ケアチームや在宅ケアにおけるホスピス緩和ケアの広がりを推進すべく再出発しました。

近年、わが国のホスピス・緩和ケアに関連した団体が増加し、緩和ケアの裾野は急速に広がりをみせています。そうしたなかで、ホスピス緩和ケアの基本理念を守りながら実践していくためにも、「専門的なホスピス緩和ケア」を提供する施設と個人からなる団体である本協会が果たす役割は、ますます重要になると考えられます。

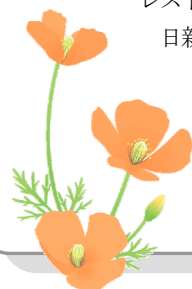
パネルディスカッションでは、今後わが国における専門的なホスピス緩和ケアの普及と質の向上を中心的に担う医師・看護師・MSW・薬剤師の若手の方々にパネリストをお願いしました。「専門緩和ケアが果たす役割」をテーマに、それぞれの立場から協会の将来のあり方などについて、おおいに語っていただくことにしています。皆様のご参加をお待ちしております。

【特別講演】 落合 恵子氏

作家・クレヨンハウス主宰、東京家政大学特任教授。

1945年生まれ。長い間、子どもや高齢者、女性、障がいのあるひとたちの「人権」をテーマにした執筆や活動を続ける。

執筆と並行して、東京青山、大阪江坂に子どもの本の専門店クレヨンハウス、女性の本の専門店ミズ・クレヨンハウス、オーガニックレストラン等を主宰。『母に歌う子守唄』前後編（朝日新聞社）では、この社会における高齢者の居場所について記述。新刊に『絵本処方箋』等多数。



【コンサート】 トライトーン

女性2名・男性3名の混声ア・カペラグループ。1994年、ビクターから「エトワール〜12の星物語」でデビュー。卓越したハーモニーワーク、生き生きとしたリズム、人の声とは思えないヴォイスパフォーマンスなどを用い、音楽のジャンルを問わない選曲、ユニークなアレンジで、トライトーンサウンドを生み出している。笑いあり、涙あり、変化に富んだ心温まるステージは、世代を超えて、多くの人々を魅了する。

海外からの評価も高く、2001年4月、アメリカのCASA (Contemporary A Cappella Society America) 主催、Best Recording Awardsで“アカペラ・マジック・ボックス”が最優秀ジャズアルバムを受賞した。2008年6月4日、ミニアルバム「虹色のハーモニー」(テイス トーンレコード) をリリース。

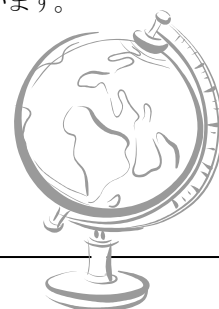


ホスピス緩和ケア週間のご案内

日本ホスピス緩和ケア協会では2006年より、「世界ホスピス緩和ケアデー (World Hospice & Palliative Care Day) ※1」を最終日とした一週間を「ホスピス緩和ケア週間」とし、ポスターの掲示及びセミナーや見学会の実施などを通して、ホスピス緩和ケアの普及啓発活動に取り組んでいます。第5回目となった昨年は、全国で93の関連した催しが行われ、約14,000人（展示会来場者は含まず）の参加がありました。

また、厚生労働省が2007年度より日本緩和医療学会に委託している「緩和ケア普及啓発事業」（オレンジバルーンプロジェクトとして活動）に、日本死の臨床研究会、日本ホスピス在宅ケア研究会、日本がん看護学会、日本緩和医療薬学会、日本サイコオンコロジー学会とともに参画し、「ホスピス緩和ケア週間」を通して、事業に協力しています。

2011年の「ホスピス緩和ケア週間」は、10月2日（日）～8日（土）の期間となり、隔年に開催される「Voices for Hospices※2」の運動と重なる年となります。詳細につきましては後日ご案内いたしますが、皆様には引き続き当週間を通した啓発・普及活動への取り組みをお願い申し上げます。



※1 「World Hospice & Palliative Care Day」

期日を毎年10月の第2土曜日とし、世界各国のホスピス緩和ケア関連施設や団体が、様々なイベントを開催しています。2011年は、「Many diseases, many lives, many voices: palliative care for non-communicable conditions」をテーマに、10月8日（土）に予定されています。



※2 「Voices for Hospices」

歌声で世界を結ぼうという運動で、世界ホスピス緩和ケアデーと同日に2年毎に開催されます。当日の午後7時30分（現地時間）にヘンデル「メサイア」の一節「ハレルヤ」を歌い、各国の時差により歌声が地球を一周するというイベントです。

どちらの企画も、ホスピス緩和ケアの啓発・普及、募金活動を行うことなどを主な目的としています。

東日本大震災への協会としての対応

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震を受け、協会では3月16日、被災地を除く全国の協会会員284施設宛に、被災された患者さんがホスピス緩和ケアを必要とされた場合の相談および受け入れが可能かどうか、問い合わせのメールを発信いたしました。

問い合わせは協会が管理するメール配信システムで緩和ケア病棟に行った他、地域によっては支部が管理しているメーリングリストを利用させていただき、緩和ケアチームや診療所宛にも配信しました。

なお、「被災された患者さんのホスピス緩和ケアに関する相談および受け入れ可能な施設一覧」(4月30日現在、緩和ケア病棟、チーム、診療所など108施設)については、3月18日より協会ホームページに公開しております。この他にも公開はせず、事務局が対応して施設と連絡を取る形で受け入れ可能な登録が34施設あります。

今のところ、事務局に直接のお問い合わせはありませんが、今後、相談や入院を必要とされる方のために、引き続き掲載し、随時更新していく予定です。

下記に、現在ご協力いただいている施設を紹介いたします。

■ホームページ掲載施設

【北海道：8施設】

札幌病院、札幌南青洲病院、勤医協中央病院、KKR札幌医療センター、函館おしま病院、洞爺温泉病院、日鋼記念病院、ホームケアクリニック札幌

【東北：2施設】

山形県立中央病院、岩手県立磐井病院

【関東甲信越：41施設】

筑波メディカルセンター病院、栃木県立がんセンター、足利赤十字病院、西群馬病院、上尾甞生病院、埼玉県立がんセンター、石心会 狭山病院、国立がん研究センター東病院、亀田総合病院、聖路加国際病院、東芝病院、NIT 東日本 関東病院、昭和大学病院緩和ケアセンター、木村病院、東邦大学医療センター大橋病院、東京厚生年金病院、国立国際医療研究センター病院、救世軍ブラス記念病院、公立阿佐留医療センター、救世軍清瀬病院、信愛病院、東大和病院、川崎社会保険病院、神奈川県立がんセンター、湘南東部総合病院、ピースハウス病院、白根大通病院、南部郷厚生病院、愛和病院、新生病院、相澤病院、山梨県立中央病院、ふじもと在宅緩和ケアクリニック、花の谷クリニック、医療法人社団修生会さくさべ坂通り診療所、医療法人社団パリアンクリニック川越、ケアタウン小平クリニック、ケアタウン小平訪問看護ステーション、立川在宅ケアクリニック、いきいきクリニック、めぐみ在宅クリニック

【東海北陸：16施設】

富山市民病院、石川県済生会金沢病院、岐阜県立多治見病院、総合病院 聖隷三方原病院、市立島田市民病院、愛知県がんセンター愛知病院、安城更生病院、名古屋第一赤十字病院、名古屋掖済会病院、総合病院 南生協病院、協立総合病院、愛知国際病院、藤田保健衛生大学病院、藤田保健衛生大学七栗サナトリウム、松阪厚生病院、山田赤十字病院

【近畿：14施設】

彦根市立病院、滋賀県立成人病センター、淀川キリスト教病院、ガラシア病院、彩都友誼会病院、高槻赤十字病院、小松病院、岸和田盈進会病院、南和歌山医療センター、紀和病院、社会保険神戸中央病院、尼崎医療生協病院、宝塚市立病院、総合病院 姫路聖マリア病院

【中国：7施設】

藤井政雄記念病院、松江市立病院、岡山済生会総合病院、倉敷第一病院、県立広島病院、安芸市民病院、総合病院 山口赤十字病院

【四国：2施設】

三豊総合病院、四国がんセンター

【九州：18施設】

秋本病院、社会医療法喜悦会 那珂川病院、栄光病院、原土井病院、西福岡病院、村上華林堂病院、糸島医師会病院、久留米大学病院、佐賀県立病院好生館、河畔病院、イエズスの聖心病院、御幸病院、メディカルケアセンターファイン、阿蘇温泉病院、佐伯中央病院、三州病院、宮崎市郡医師会病院、天陽会中央病院

■事務局が対応して施設と連絡

【北海道：3施設】

恵佑会札幌病院、札幌ひばりが丘病院、清田病院

【東北：1施設】

外旭川病院

【関東甲信越：13施設】

伊勢崎市民病院、戸田中央総合病院、山王病院、千葉県がんセンター、君津中央病院、賛育会病院、東京衛生病院、豊島病院、湘南中央病院、新潟医療センター、いばらき診療所とかい、東京北社会保険病院、公立富岡総合病院

【東海北陸：4施設】

福井県済生会病院、聖霊病院、松阪市民病院、磐田市立総合病院

【近畿：3施設】

ヴォーリス記念病院、耳原総合病院、東神戸病院

【中国：2施設】

山口宇部医療センター、安岡病院

【四国：4施設】

近藤内科病院、細木病院、もみのき病院、須崎くろしお病院

【九州：4施設】

木村病院、嶋田病院、熊本地域医療センター、南九州病院

*未登録の会員施設で受け入れが可能な場合や、既にご登録いただいている施設で登録内容に変更がある場合は、協会事務局にご連絡下さい。

各支部の2010年度 活動報告

各支部より2010年度の活動報告書を提出いただきましたので、下記の通りご報告いたします。

北海道

1. 支部大会の開催

- 日時：2010年5月22日(土)
場所：アスティ45(北海道)
対象：緩和ケアに関わる医療従事者
内容：1) 総会
2) 特別講演「最良のがん治療の連続性を目指して—がん緩和医療最前線—」
講師 向山雄人(癌研有明病院)
3) シンポジウム「癌治療と緩和ケアの融合」
清水 康(北海道大学) 他5名

参加者：187名

2. 幹事会の開催

- 日時：①2010年5月22日(土)、②7月23日(土)
③11月23日(土)、④2011年1月23日(土)
場所：①アスティ45(北海道)
②～④KKR札幌医療センター会議室
対象：支部幹事
内容：支部大会、役員改選について 等
参加：①7名、②5名、③9名、④9名

3. 北海道支部ニュースレターの発行

東北

1. 支部大会・緩和ケア病棟分科会の開催

- 時期：2010年5月29日(土)
場所：宮城県立がんセンター(宮城県)
対象：支部会員
内容：①病棟施設紹介(宮城県立がんセンター) 等
②東北支部会の今後について等
参加者：①44名、②45名

2. 東北支部平成22年度緩和ケア研修交流事業

- 日時：2010年9月～11月
研修場所：岩手県立中部病院・東北大学病院・ふくしま在宅緩和ケアクリニック・仙台医療センター・外旭川病院
参加者：岡部医院・岩手県立磐井病院・山形県立中央病院・孝仁病院・盛岡赤十字病院・ふくしま在宅緩和ケアクリニック・十和田市立中央病院(医師3名・看護師6名)

3. 幹事会の開催

- 日時：2011年3月5日(土)
場所：AER5回会議室(宮城県)
対象：支部幹事
議題：1) 平成22年度支部総会議事録の説明
2) 平成22年度緩和ケア研修交流事業の報告

- 3) 支部代表理事懇談会(2010.12.3)配布資料の説明
4) 第9回理事会(2010.12.4)の報告
5) 今後の支部活動の在り方について

参加：17名

関東甲信越

1. 支部大会の開催

- 日時：2010年5月16日(日)
場所：東京ステーションコンファレンス(東京都)
対象：支部会員
テーマ：1) 看取りのケアにおけるクリティカルパス」
宮下光允(東北大学大学院) 他
2) 「事例検討」
山田祐司(愛和病院)

参加者：136名

2. 幹事会の開催

- 日時：2010年5月16日(日)
場所：東京ステーションコンファレンス(東京都)
対象：支部幹事
内容：2010年度事業計画、2011年度支部大会について等
参加：17名

3. 常任幹事会の開催

- 日時：①2010年8月21日(土)、②9月20日(月)、
③12月4日(土)
場所：①・③東京国際フォーラム
②聖路加国際病院旧館
対象：①・②・③支部常任幹事
内容：1) 今後の支部活動、2011年度年次大会について
2) 協会創立20周年記念大会について
3) 協会創立20周年記念大会、支部活動について
参加：①10名、②8名、③10名

東海北陸

1. 支部大会の開催

- 日時：2011年3月13日(日)
場所：岐阜中央病院(岐阜県)
対象：支部会員
内容：1) 総会
2) 基調講演「緩和ケアにおける倫理的問題—鎮静をめぐる倫理的ジレンマの解決に向けて—」
講師 田村恵子(淀川キリスト教病院)
3) グループ討議・質疑応答

参加：46名

2. 幹事会の開催

- 日時：2010年9月18日(土)
場所：安保ホール(愛知県)
対象：支部幹事
内容：1) 次期幹事・代表幹事の選出
2) 2010年度支部大会
3) 今後の支部活動のあり方について
参加：7名

近畿

1. 近畿ブロック会の開催

日時：2010年11月20日(土)
場所：紀和病院ウエルビーホール(和歌山県)
対象：支部会員
内容：講演1.「ホスピス緩和ケアの心—医師と患者の立場で考える—」
講師 堀 泰祐(滋賀県立成人病センター)
講演2.「“自分らしい人生”を支える—ケアリングの視点から—」
講師 田村恵子(淀川キリスト教病院)
分科会
参加：90名

2. 師長会の開催

日時：2010年11月20日(土)
場所：紀和病院西館4階(和歌山県)
対象：支部会員施設師長
内容：1) ボランティアの運用について
2) 在院日数の流れと現状と問題点、対応と取り組み等
参加：12名

3. 幹事会の開催

日時：2010年11月20日(土)
場所：紀和病院西館1階(和歌山県)
対象：支部幹事
内容：1) 次年度支部大会
2) 教育担当幹事の件等
参加：10名

中国

1. 支部大会の開催

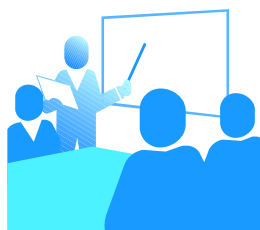
日時：2010年9月18日(土)～19日(日)
場所：広島大学医学部同窓会館「応仁会館」(広島県)
対象：支部会員および緩和ケアに従事する専門職
内容：1) 基調講演「岡山大学緩和医療学講座と地域連携について—野の花プロジェクトの活動を通して—」
講師 松岡順治(岡山大学大学院)
2) ワークショップ「地域連携」
講師 石原辰彦(岡山済生会総合病院)
参加：会員74名、非会員3名

2. 代表者会議・部会の開催

日時：2010年9月18日(土)
場所：広島大学医学部同窓会館「応仁会館」(広島県)
対象：支部会員
内容：会員情報交換及び交流
参加：71名

3. 幹事会の開催

日時：2011年3月5日
場所：広島緩和ケアセンター
参加：支部幹事6名



四国

1. 支部会・公開セミナーの開催

日時：2010年8月29日(日)
場所：高知医療センターくろしおホール(高知県)
対象：①支部会…支部会員
②公開セミナー…支部会員及び地域の緩和ケア従事者
内容：1)「高齢者医療と口腔ケア—緩和ケアとの接点—」
立本行宏(高知医療センター)
2)「在宅緩和ケア地域連携パス」
弘末美佐(高知県在宅緩和ケア推進連絡協議会)
参加：①会員36名
②会員36名、非会員3名

2. 世界ホスピス緩和ケアデー in Tokushima2010 パネル展

日時：2010年10月2日～9日
場所：徳島県庁・ふれあい健康館・近藤内科病院・徳島大学病院・徳島赤十字病院・徳島市民病院・徳島県立中央病院
対象：一般市民・医療関係者・患者・家族
テーマ：ホスピス緩和ケア
参加：約100名

九州

1. 支部大会の開催

日時：2010年5月29日(土)
場所：福岡国際会議場4階会議室(福岡県)
対象：九州支部会員施設の医療従事者
テーマ：改めてホスピス緩和ケアを問うⅡ
内容：1) 基調講演「改めてホスピス緩和ケアを問うⅡ—ホスピスのこころ—」
講師 田村恵子(淀川キリスト教病院)
2) シンポジウム「改めてホスピス緩和ケアを問うⅡ」
シンポジスト 山岡憲夫(やまおか在宅クリニック) 他3名
3) 分科会
参加：207名

2. 教育担当者のためのホスピス緩和ケア教育セミナー

日時：2010年10月30日(土)・31日(日)
場所：ふくふくプラザ(福岡県)
対象：九州支部会員施設職員
内容：多職種指導者研修
参加：58名

3. 幹事会の開催

日時：2010年11月20日(土)
場所：九州支部事務局(福岡県栄光病院内)
対象：支部幹事
内容：中間報告、支部細則の再検討、2011年度九州支部活動計画
参加：12名

4. 九州支部ニューズレターの発行

訃報

長年にわたり当協会の活動にさまざまな面でお力添えをいただいていた磯崎 千枝子様が、2011年2月7日午後にご逝去されました。

磯崎様は、医療ソーシャルワーカーの立場からわが国のホスピス緩和ケアの発展にご尽力され、1998年から2004年まで6年間当協会の理事を、また、1998年からご逝去されるまで評価委員をお務め下さいました。

磯崎様のご冥福を心よりお祈り申し上げると共に、ここに生前のご厚誼に感謝し、謹んでお知らせいたします。

磯崎千枝子様について

1989年より上尾甞生病院 医療ソーシャルワーカー。その後、たけべ乳腺クリニック 緩和ケア相談室室長を経て、2009年より高松平和病院 緩和ケア相談室勤務。

ホスピス緩和ケアに関する
情報提供のお願い



協会では定期的に、会員施設の施設概要や緩和ケアに関する施設基準の届出状況に関する調査を行っておりますが、施設基準の新規届出や、所在地・担当者などの登録内容に変更がある場合は、事務局 (info@hpcj.org) までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

また、協会では、全国の緩和ケアを提供する病棟・チーム・診療所、その他の施設・団体の把握に努めております。緩和ケア病棟新設などの情報をお持ちでしたら、事務局までお寄せいただければ幸いです。

協会ロゴマークをご利用下さい

正会員施設は、協会会員であることを示すために、病院のパンフレットや院内の掲示などにロゴマークを使用することができます。

詳しくは会員専用ページをご覧くださいか、協会事務局までお問い合わせ下さい。

使用申請書をお送りいたします。



求人情報の掲載について



当協会では、ホスピス緩和ケアに携わるスタッフの充実をはかり、ケアの質の向上を目指すことを目的として、2010年9月より正会員施設の求人広告をホームページに掲載し、本年5月1日までに、34施設の情報を掲載いたしました。

事務局では、今後、どのように運用していくかを検討するために、登録施設に求職者からの問い合わせの有無などをお尋ねしています。

今回、その結果をまとめましたので、ご報告いたします。

【求人登録職種】

(※1施設で複数の職種を登録している施設も有)

- 医師 : 23件
- 看護師 : 17件
- その他の職種 : 0件

【登録施設のケア提供区分】

- 緩和ケア病棟 : 24施設
- 緩和ケアチーム : 0施設
- 在宅緩和ケア : 5施設
- 病棟・チーム : 3施設
- 病棟・在宅 : 2施設

【登録施設の状況】

- 契約成立 : 1件
- 問い合わせがあり選考中 : 1件
- 別のルートで採用 : 2件
- 問い合わせがあったが採用に至らなかった : 3件

なお、登録を希望される正会員施設は、下記の手順で受け付けておりますのでご利用下さい。

- ① 専用の登録用紙(協会ホームページよりダウンロード可能)に必要事項を記入し、事務局に郵送
- ② 協会事務局は登録用紙が届き次第、理事長の承認を得て毎月1日・15日にホームページに掲載(掲載期間2ヶ月。希望があれば引き続き2ヶ月毎に延長可能)
- ③ 掲載を依頼した施設は、本ホームページに求人広告を掲載したことで、雇用契約が成立した場合は、その旨を協会事務局へ連絡

